

## 市民の声とインターネット

吉村順子

junko@suehiro.nakano.tokyo.jp

## 非営利任意団体のビジネス

北京から戻ってきて2週間たちました。この間、いくつかの取材や講演、ミーティングをこなしてきましたが、さすがに疲労が蓄積していたようで、ずっと雲の上にいるような感じでした。毎日の買い物に散歩くようになって、やっと日常感覚がもどってきました。生活習慣の異なる外国で集中して仕事をしたあとは、緊張をほぐす期間を設けたほうがいいようです。もちろん、1日に数百通は押し寄せる電子メールの相手をしながら仕事はするのですが、自分に「頑張りすぎたんだからちょっとペースを落として休もうね」と言い聞かせるだけで、ずいぶん楽に過ごせます。

中国の国際会議場でコンピュータとネットワークのユーザーサポートをしながらの情報発信はとても大変でした。一般参加者ではないので、自由にはワークショップに出かけられません。ユーザーからのひっきりなしのSOSに追われて日中はほとんどキーボードに触られないので、目覚し時計を早朝にセットして雑誌原稿を書き、休日に重要なドキュメントを集中してタイプするという生活が1か月近く続きました。

その甲斐あって、Women's Online Media(WOM)のWWWホームページには中国から日本語の情報を毎日のように送り込むことができました。一連の活動がいくつかのマスコミに紹介されたせいか、最近ではWWWサーバーを立ち上げる予定の行政機関からWOMへの問い合わせが増えています。その1つに「サーバー構築計画をたてるために、WOMのホームページへのアクセスデータがほしい」という要望がありました。システム担当者にアクセスログの解析ツールをインストールしてもらい、自分でログをいじっているうちに「これって、タダじゃ変だ」と思ったのです。

WOMは慶応義塾大学の研究プロジェクト“VCOM”のケースプロジェクトの1つです。マシンなどの活動リソースはVCOMのものを使わせてもらっていますが、活動費自体は自前で調達しています。つまり任意団体に近い性格をもっています。WOMの活動の中心は、広く知らせたいと思われる情報を無償でWWWに公開していくものです。

しかし、こと細かなアクセスデータは、WOMにとっては貴重な内部資料であり、ホームページの構成や、日本語ページと英語ページの比率を決定していくうえでの重要な基礎データです。

WOMの活動を評価し、それを参考にしたいという要望はと

てもありがたいのですが、WOMにしかないもの(ノウハウ)を提供してほしいというなら、WOMの活動が安定するために協力してくださらないかな、と私は考えるのです。

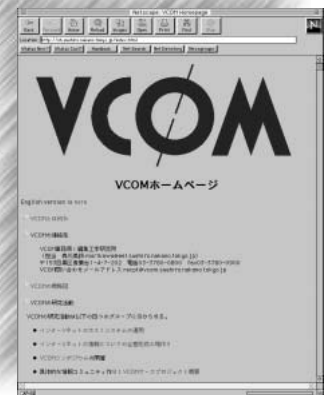
日本には、任意団体が容易に法人格を取得できる制度がありません。また、寄付金に対する非課税制度もありません。こうした市民活動の基盤を支える法的制度が諸外国に比べて不備な分だけ、行政や企業などとの対等な関係を築きにくくなっています。

公害企業を追及したり、消費者運動の流れで、日本の市民運動はともすると行政や企業との対立関係に終始してきたのではないのでしょうか。しかし、企業に働く人も仕事を離れば一市民であり、いま、あらゆる立場の人がそれぞれ地球規模の問題を自分のこととしてとらえていくことが求められています。任意団体、行政、企業などに分かれ、対立したり、別々に動いたりすることは、無駄が多いのではないのでしょうか。

独自の活動実績とさまざまなノウハウを蓄える任意団体には、任意団体なりのビジネスチャンスがあります。たとえ非営利組織でも、その経営を健全に保つことは欠かせません。会員からの会費収入や機関誌の売り上げばかりでなく、行政、企業、シンクタンクなどとの対等なビジネスとして、委託研究を引き受けてレポートを作成したり、コンサルテーションをしたりできるような、体力のある自立した団体が増えていくべきだと思います。ですから、制度が不備な現在、行政関係機関は任意団体の体力作りに特に留意してほしいと考えています。

VCOMではケースプロジェクトのひとつとして、市民活動を支える制度に関する情報交換をインターネットのtnn.interv.ngolegalで行っています。担当は「市民運動を支える制度をつくる会=シーズ(C's)」の事務局長松原明さんです。みなさんのご参加をお待ちしています。

mailto:matubara@c-s.suehiro.nakano.tokyo.jp





## [インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

**株式会社インプレスR&D**

All-in-One INTERNET magazine 編集部

[im-info@impress.co.jp](mailto:im-info@impress.co.jp)